

校長のつぶやき

校長室だより ー第2号ー

平成31年4月12日 山内

4月9日(火)朝、私も吉田先生はじめ、諸先生方とともに7時40分位から正門に立って岩高生の皆さんに声がけしました。元気な挨拶は本当に気持ちがいいものです。これからも私もできる限り正門に立って挨拶したいと思います。

この日の午前はお隣の岩出山小学校の入学式で私も来賓として出席しました。61人のピッカピカの1年生の元気な姿に様々な思いが過ぎりました。式辞では大場良行校長先生が校旗の説明を行いました。色やデザイン、印の意味や由来まで6歳の子供から80歳を超えるお年寄りまで誰もが理解できる心に残るお話でした。いつかあのような素晴らしい式辞が詠めたならなと羨ましく思いました。大場校長先生は岩高の大場利明事務室長先生と高校時代同級生だそうで、3年生担任、バドミントン部顧問の小野寺定太先生の小学校時代の担任の先生だったそうです。本当にご縁というかお繋がりを感じます。今年は志教育の連携もあって、今まで以上に岩出山小学校との交流を考えています。地域の小学生との交流が地域に貢献することにもなります。岩高生の皆さん、是非積極的に交流活動に参加してください。

この日の午後は私にとって岩高初の生徒会行事、「新入生歓迎会(対面式・部活紹介)」がありました。対面式での2・3年生の先輩と新入生の両方の話を聞く態度はとても立派で教頭先生と二人で感心しました。挨拶でも話したように新入生は学校の宝です。これからの岩高を背負う人たちです。2・3年生の先輩方は「自分が1年生の時にこうしてほしかった」という思いで1年生に接してください。

部活紹介は各部工夫を凝らしたプレゼンで、新入生は高校の部活のレベルの高さに少し圧倒されたかもしれませんが。部員がない演劇部や陸上部は顧問の先生方自らがプレゼンを行っていました。吹奏楽部はたった二人の部員ながら顧問の西脇爽気先生のトランペットとともに「見上げてごらん夜の星を」を演奏してくれました。心に残る感動的な演奏でした。ペアで踊ってくれたダンス部もレベルが高いなと感心しました。野球部もバド部も生徒と顧問が一体となってプレゼンを行い、少人数ではあるけれどそれだけ一人一人に丁寧に指導できるのが岩高の強みでもあると再認識させられました。新入生の皆さんの入部があれば5月の地区総体に出場できる種目もあるようです。新入生の皆さん、積極的に部活動に取り組んでください。

同じ日に国から5年後の2024年度をめどに紙幣のデザインが一新されることが発表されました。

1万円は福沢諭吉から「日本の資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一に、5千円は樋口一葉から「日本初の米国女子留学生」の津田梅子に、千円札は野口英世から「血清療法」を確立した北里柴三郎にそれぞれ変わるようです。5年後という期間は長いようであっという間に訪れます。3年生で大学に進学した人は社会人1年生となっています。1年生で専門学校に進学した人も社会人1年生です。結婚して家庭を持ち、人の親になっている人もいるかもしれません。5年後をしっかりとイメージして、つまり夢と目標を持って一日一日を生活してほしいと思います。

着任式、始業式、入学式、新学級、新学期、全校集会、新しい環境でとても疲れた一週間だったかもしれませんが。しかし、ここを乗り切れば、人間としてさらに成長できます。誰もが通ってきた道ですが、困ったなら一人で悩まないで友達や家族、そして先生方に相談してください。今年は268名岩高生一人一人と44人の先生方一人一人の協力で保護者や地域の方とも連携して矢内先生や嶺岸教頭先生の言う「安全」で「安心」な学校にしたいと思います。

最後に一首「新しき 仲間とともに 新学期 期待と不安 一喜一憂」

では今回の校長室だよりはこれでお終いにします。来週も元気に登校してください。

